

お客様から、
「私たちの金融機関」と支持され、評価される
『アワーズしんきんバンクの実現』の確立を目指します。



会長
吉本 淳一



理事長
前田 繁利

平素より札幌信用金庫に格別のお引き立てを賜り、心より御礼申し上げます。

本誌は、当金庫の経営内容及び地域に根ざした営業活動、地域貢献等についてご理解を深めていただけるよう作成致しました。本誌を通じまして、当金庫の営業概況・経営姿勢をご理解いただければ幸いに存じます。

平成28年度の我が国経済は、高齢化や人口減少による潜在成長力の低迷といった構造的な要因を背景に、個人消費や設備投資で力強さを欠いたものの、政府が推進する成長戦略などにより雇用・所得環境は改善し、全体としては緩やかな回復基調が続きました。

また、北海道経済においても、台風被害による一時的な景況感悪化がありました。緩やかな持ち直しが続いており、北海道新幹線の開業によって観光関連において好調な推移が見られました。

一方、金融面では、日本銀行が昨年2月に導入した、いわゆるマイナス金利政策により、貸出金利や運用利回りが一段と低下し、収益面での低下要因となっております。

このような経済環境であります。当金庫は地域経済活性化に資する取組み、地域創生、安定した資金供給に引き続き努めて参ります。

また、不変の最重要事項であるコンプライアンス態勢の強化、顧客保護等管理態勢の徹底、リスク管理態勢の構築・強化を図り、「支援力・営業基盤の強化」「経営力・内部態勢の強化」「組織力・人材力の強化」「つなぐ力・総合力の強化」を重点方針に掲げ、[※]「四方よし」の経営を実践していくことで「アワーズしんきんバンクの実現」を目指して参ります。

さて、昨年11月に合併後の新金庫名称を北海道信用金庫(略称：しんきん北海道)とすることを発表致しました。そして、平成30年1月には、預金量が1兆円を超え、大変多くの方が居住されるエリアを持つ北海道信用金庫が誕生致します。地域専門金融機関としての使命を果たすべく三金庫が一致協力し、万全な態勢を以って、北海道信用金庫をスタート致します。

皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう、切にお願い申し上げ、巻頭のご挨拶と致します。

平成29年7月

※「四方よし」…「会員・お客様よし」「地域社会よし」「金庫・役職員(家族)よし」「環境よし」